

消防だより

6月の広報テーマ

「災害弱者に対する支援の推進」

119

災害時要援護者へ支援

災

害援護者とは、災害が発生した時に、何らかの障害を持つことによって援護を必要としている人たちのことです。
 (災害時要援護者とは)

◆自分の身に危険が差し迫った場合、それを察知できない、または困難な人。
 ◆自分の身に危険が迫っても、適切な行動をとることができない、または困難な人。
 ◆危険を知らせる情報を受け取ることができない、または困難な人。



災害時要援護者を災害から守るためには、地域住民一人ひとりが災害に対し、日ごろから災害に関心を持ち、防災知識を高めるとともに、近所に災害時に手助けを必要としている人がどのくらいいるのか、またその人たちにどのような支援ができるか考えて災害時には適切な行動をとってください。

◆危険な情報を受け取ることができても、それに対して適切な行動をとることができない、または困難な人。

具体的には「心身障害者」、「傷病者」や体力的に衰えのある「高齢者」、または「乳幼児」や日本語が分からない外国人、一時的にハンデを負う妊産婦や地域の地理に不案内な旅行者などが考えられます。

具体的には「心身障害者」、「傷病者」や体力的に衰えのある「高齢者」、または「乳幼児」や日本語が分からない外国人、一時的にハンデを負う妊産婦や地域の地理に不案内な旅行者などが考えられます。

入江4区婦人防火クラブ

4

月25日午後7時より、入江4区婦人防火クラブ員8名のよる夜の火災予防巡回が春とはいえまだまだ肌寒い寒風の吹く中、「火の用心」の掛け声と拍子木の「カーン、カーン」の音を夜の街に響かせ町の無火災と無災害を訴え、地域住民の安全と安心の願い夜の巡回が行われました。



夜の巡回をする入江4区婦人防火クラブ

統一標語
 「火は見たる
 あなたが離れる
 その時を」

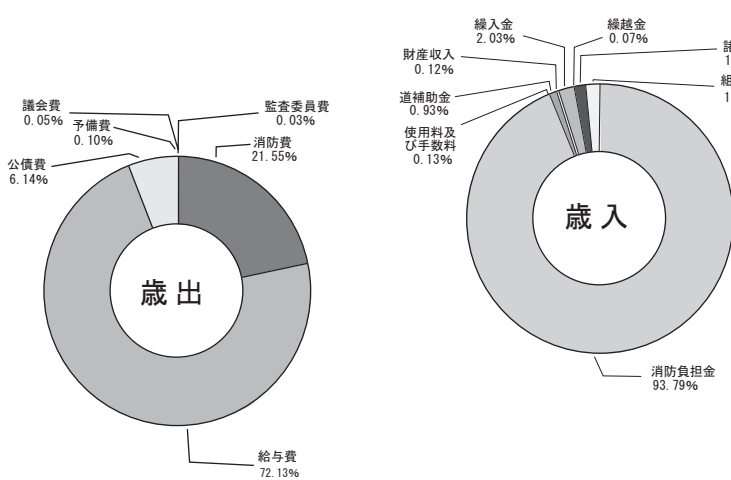
fire

4月の
 ●火災件数
 ●救急件数

472件

西胆振消防組合平成20年度予算概要

平成20年度予算が、3月開催された西胆振消防組合議会定例会で議決されました。歳入では、歳入グラフのとおり、歳入に占める割合が最も大きいのが消防負担金で、構成4市町の規模(人口割、財政割)及び均等割により負担率が決められています。歳出では、歳出グラフのとおり給与費が最も大きく、その他の歳出は主に消防本部、各消防署(支署)の活動経費に充てられます。



【歳入】..... 1,536,902千円

- 消防負担金 1,441,427千円
- (内訳) 伊達市 722,385千円
- 洞爺湖町 397,942千円
- 豊浦町 166,697千円
- 壮瞥町 154,403千円
- 使用料及び手数料 2,000千円
- 道補助金 14,330千円
- 財産収入 1,873千円
- 繰入金 31,272千円
- 繰越金 1,000千円
- 諸収入 18,000千円
- 組合債 27,000千円

【歳出】..... 1,536,902千円

- 議会費 706千円
- 監査委員費 400千円
- 消防費 331,286千円
- 給与費 1,108,617千円
- 公債費 94,293千円
- 予備費 1,600千円